

「大学連合」が目指すもの

一橋、東京外国語、東京工業、東京医科歯科の国立4大学長が2001年4月実施で合意した「大学連合」は、大学再編時代の大ききかけとして注目を集めている。東京芸術大も学内調整を経て、参加するとみられる。「世界に通用する大学を作る」と意気込む東京外国語大の中嶋嶺雄学長に「連合」の目標や新世紀の大学像を聞いた。

【内田 達也】

◆大学連合の目的は。単位互換なら既に多摩地区の国立5大学でも限定的に行われている。大学連合での基本構想は、単位の半分くらいは複数の大学で取った方がいいんじゃないかという

◆大学の教養部が解体され、学

世界のトップへは大学の国際化必要

日本の大学が世界のトップになれないのはなぜでしょう。

◆国立大学の競争原理がないから。それが大学の国際化が進んでいないことが大問題だ。今までの日本の大学は、日本人が日本語で日本人に教えるのが主流だった。外国人留学生がゼロという私学もある。そもそも「留学生」という

リストを養成してやり、評価が高い。しかし、東京大、京大などに比べると、予算面を中心に冷遇されてきた。東大と比較すると、東大の予算は約3分の1だ。しかし、東大が社会で東大に比べて、30分の1の貢献しかしていないとは思えない。

◆「打倒旧帝大」ですか。

◆既得権保護を良しとする守旧派にとまると、改革派に進むか。第二、第三の東大を作っても意味がない。各大学の持ち味が共鳴し合って、豊かな可能性を模索できる、世界のトップレベルとして通用する大学づくりをしたい。

◆以前はそれでも良かったかもしれないが、バブル経済がはじけて立ち行かなくなってしまう、それは間違いない。それが間違いない。例えはジャーナリズムの世界でも現場で経験を積んだ後に大学に戻り、ジャーナリズム専攻の勉強をする。そうしたらリカレント教育もできるんです。高度職業人教育というものが大学に求められているのです。

旧帝大のアンシャン・レジームを打破

東京外大学長・中嶋嶺雄氏 大いに語る

東京外大で15日午後、橋口正写す



なかじま・みねお 1936年長野県生まれ。東京大学大学院社会学研究科国際関係論課程修了(社会学博士)。「北京烈烈」(筑摩書房)など著書多数。国立大学協会副会長。

編入学を恒常的に

◆編入学については。

◆今までは編入学は例外的なものでしたが、恒常的にする。例えば東大なら1学年800人の定員だが、そのうち数十人が他大に編入することもできるようにする。他大の受け入れを約束す

生の基礎学力が低下した。本当の教養教育には理系、文系のベテランが必要だ。4大学が共通の教養教育をする。4大学の学生が集まれば緊張感も高まる。学際領域における研究も進む。4大学が集まれば世界のトップレベルにも伍していける。

◆企業社会のあり方も変わらなくてはならない。例えば、私のゼミ生は、卒業後、米国で修士を取って帰国し、その後は青年海外協力隊に参加して、パナマで社会奉仕活動をした。スペイン語も覚え、現地でもたくましく生活した。少なくとも英、露、スペインの3カ国語ができる。現在は、国連開発計画のスタッフとしてニューヨークで働いている。そういう女性が多い。だが、日本企業はこうした人材を受け入れていないのだろうか。能力のある人をきちんと評価してない。これからの日本企業のトップには通訳なしに外国企業のトップと交渉する能力が求められる。サ

◆「生きた」の「生」は、例えはオペラ専攻の芸大生が外大に来てイタリア語の授業を受けられるようなことですか。

◆いや、もっと幅広いでしょう。例えば、私は鈴木鎮一門下生でバイオリンを弾くけれど、あくまでも趣味です。プロとして通用するわけではない。芸大の学生にも同じことが言える。演奏家や芸術家としてやっていける人はごく一部で、それ以外の仕事を適当にこなさなければならない。外大でも同じで、外国語がべらべらだけ、それ以外何もなしというような人間を生んではいけません。

特集ワイド2

◇大学連合の主な柱◇

- ① 学士入学
- ② 編入学
- ③ 連合授業 (一つのテーマに即した授業を各大学の教員が数回ずつ分担する。あるいは、1人の教員の授業を、各大学の学生が同数程度、受講する)
- ④ 共同授業 (例えば、東工大と医科歯科大で医学-工学コース、一橋と東大で地域研究コースなどを設ける)
- ⑤ 単位互換
- ⑥ 学生間のスポーツ・文化活動などの交流
- ⑦ 学生による共同調査旅行
- ⑧ 留学生受け入れ拡大と相互交流
- ⑨ 博士論文の共同指導や共同審査

◆「打ち倒す」の「打」は、例えはオペラ専攻の芸大生が外大に来てイタリア語の授業を受けられるようなことですか。

◆いや、もっと幅広いでしょう。例えば、私は鈴木鎮一門下生でバイオリンを弾くけれど、あくまでも趣味です。プロとして通用するわけではない。芸大の学生にも同じことが言える。演奏家や芸術家としてやっていける人はごく一部で、それ以外の仕事を適当にこなさなければならない。外大でも同じで、外国語がべらべらだけ、それ以外何もなしというような人間を生んではいけません。

◆「打ち倒す」の「打」は、例えはオペラ専攻の芸大生が外大に来てイタリア語の授業を受けられるようなことですか。

先週、この欄で「不倫が原因で自殺未遂騒動を引き起こしたアナウンサーを、NHKが懲戒免職したのは理解できない」と書いたら、仲間うちから文句が出た。「キミだって総理大臣の不倫を批判したじゃないか」

10年も前のことで、すでに歴史的範疇に入ってしまったものと思っていたが、世の中、記憶力の良い人はいるものだ。サンデー毎日のデスク時代、確かに我々は「総理大臣の醜聞」という記事を書いた。当時の首相が、月30万円の「お手当」で芸者さんを愛人にした。ところが、その相手の女性から「彼は総理大臣になる資格はない」と告発された、という記事である。

「彼は料亭のお座敷で、政界のドン・竹下登さんにバコペコしながら、バ

牧太郎のこぼれ話

ッドに入る。竹下さんの悪口ばかり。裏表の激しい人物に総理大臣は務まらない。彼女の主張だった。一国の最高指導者が不倫相手にポロクンに批判されている「滑稽さ」を報道した。あまり品の良い記事ではなかった、とは思って「不倫報道」と「不倫で懲戒免職」は次元の違う問題だと思ふ。

こぼれ話だが、当時、自民党は我々を名誉棄損で告発するのではないかと思っていた。この辺が、政治家はスキャンダルが発覚すると、事実を隠蔽するためにメディアを名誉棄損で告発する。例えば、国会の審議で真相を追及さ

スキャンダルが発覚した時、政治家はどんな対応を見せるか。この辺が、彼らの器量を見極めるツボである。小淵首相に「NTTドコモ株疑惑」なるものが浮上した。真相は分からない。真相を知りたい人もいるし、それほど興味を示さない向きもある。正直なところ「古い話」という印象だが、小淵さんの対応には興味津々。

首相が選ぶ「告訴の効用」

この時も「不倫の発覚」だけではこんな記事は書かなかった。事実、うわさがあつた別の芸者さんのことは一行も書かなかった。「総理大臣の醜聞」は国際的ゴシップになり、その影響がどうか判然とはしないが、半永久天下党の自民党はこの年の参議院選挙で惨敗する。

れると「事実無根。名誉棄損で告訴しております。捜査の邪魔になるので、この件については発言を差し控えた」とサラリと逃げる戦法である。あの時、くたんの首相は告発なんて考えなかった。その代わり、何を聞かれても、彼は何も答えなかった。

彼は疑惑を報じた週刊誌を名誉棄損で訴え「司直にゆだねる方法」を選択した。保守本流の対応である。僕の経験では、保守本流の対応をする政治家は「疑惑浮上は政敵の陰謀」と邪推する。となると、小淵さんの逆襲が興味津々である。【編集委員】